

熊本空港特定運営事業等  
2020年度  
事業計画  
熊本国際空港株式会社



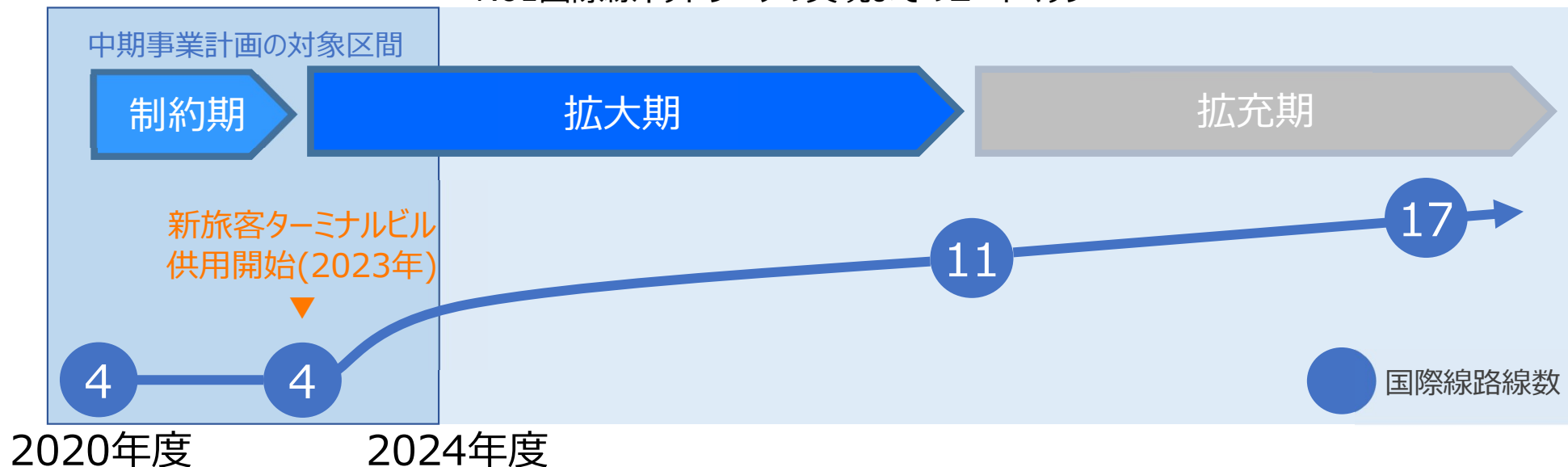
# 2020年度の方針

当初の事業期間終了時  
(2051年度)  
におけるビジョン

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ  
地方空港※No.1の国際線ネットワーク

※羽田、成田、関西国際、福岡、新千歳、那覇、伊丹、中部を除く空港

No1国際線ネットワークの実現までのロードマップ



## 2020年度の方針

- ・万全の安全・保安体制を構築し、円滑に空港運営業務を承継
- ・別棟ビル施設オペレーションとなっても安全性・利便性を維持

目標値

国内線  
旅客数

335万人

国際線  
旅客数

18万人

貨物量

1.8万t

運営権施設の投資総額

33.3億円

- ◆空港基本施設（滑走路・誘導路・エプロン等）の修繕・更新
- ◆カーブサイド・立体駐車場整備 等

非運営権施設の投資総額

5.7億円

- ◆国際線ビルに対する別棟ビル施設の機能補完への対応
- ◆貨物ビル施設への屋根設置 等

# 基本方針と2020年度の具体的施策

## ビジョン実現のための 5つの基本方針



世界水準の  
空港体験の提供



東アジア路線の  
戦略的誘致



二次交通の  
拡大・拡充



地域との連携強化  
による需要創造



空港全体の  
レジリエンスの確保

## 2020年度の具体的施策

- ・ サテライトビルの運用
  - ✓ 別棟ビル施設の機能補完のため、待合機能、二次交通の案内機能、店舗、トイレ等を整備
- ・ 現国際線ビル施設の運用
  - ✓ 免税商品の充実等による商業機能の強化
  - ✓ 別棟ビル施設の機能補完のための改修

- ・ エアライン誘致体制の整備
  - ✓ ターゲットエアラインにきめ細やかなフォローを行う体制を構築

- ・ 九州周遊需要を捉えた直行バス路線の増便
- ・ 別棟ビル施設運用期間中の利便性確保

熊本県の空港の将来構想の実現に係る協力

- ・ 広域防災拠点機能強化/新産業育成協力

空港利用促進事業の施策

- ・ 地域との連携強化/広域連携による航空需要喚起

- ・ 安全・保安に関する空港運営体制の構築
- ・ 外部機関活用による複層的モニタリングの実施
- ・ 別棟ビル施設運用期間中の安全・保安管理の徹底